

単元名 声に出して楽しもう2

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。
(3) 言葉の響きやリズムに親しみ、音読したり暗唱したりしようとする。

標準的な展開例

04010212_001

【教材名】短歌・俳句に親しもう (二) (下 P.60～P.61)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 短歌・俳句を何度も声に出して読み、言葉のまとまりや調子、響きを楽しむ。</p> <p>★短歌や俳句を音読したり、暗唱したりしよう。</p> <p>○区切りを確認し、リズムを意識しながら短歌・俳句を繰り返し音読する。</p> <p>○短歌・俳句の大意を捉え、様子を想像しながら音読したり暗唱したりする。</p>	<p>・短歌（五七五七七の三十一音、首と数える）俳句（五七五の十七音、季語がある、句と数える）を確認し、歴史的仮名遣いや古語の説明をする。</p> <p>・添えられた大意を、情景を思い浮かべる参考にする。</p> <p>【評】区切りやリズムを意識ながら短歌や俳句を音読する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】五七調の語感やリズムに気を付けて音読や暗唱をする活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>

【 備 考 】